



学校だより

5月

四箇郷北小ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/sikagokita/index.html>

「ことばの力」の育成

学校長 貴志 年秀

学校の桜もいつの間にか葉桜に変わり、風薫る5月がやってきました。

先日開催された育生会総会では、新しい育生会の役員の方々が決まり、予算案・事業計画案等が承認され、本格的に四箇郷北小学校の23年度が動き出しました。

本年度は学習指導要領改訂の年。10年ごとに改定されている学習指導要領、今回の改訂では、40年ぶりにその中身が「ゆとり教育」から「脱ゆとり教育」に変わりました。

授業時間数の増加や高学年の外国語活動導入などが主な特色です。また、国語科を中心にした「ことばの力」の育成が謳われています。

「ことばの力」とは、ことばを使って自らの考えを深め、他者とのコミュニケーションを行うことのできる能力であり、知的活動や感性・情緒、文化等の基礎を成すものと言われています。

この力の育成のために、低学年では漢字の読み書き・音読や暗唱、対話、発表などを多く取り入れた授業設計をしています。また、高学年では、目標をもった読書活動をさせたり、新聞を授業のなかに取り入れたりといった活字に直接触れる活動をより多く取り入れるようにしていきます。

今回、各ご家庭に配布しました『うちどくノート』も、この「ことばの力」をつけさせるための方策の一つです。週に一度のおうちでの「うちどくタイム」。一日に30分から1時間程度、テレビを消して、パソコンを閉じて、ご家族一緒に読書を楽しみましょう！

「ことばの力」は各ご家庭での「うちどくタイム」でも十分に育つ力です。



誰もが特別の「only one」

家庭訪問が終われば、年度初めの行事もようやく一段落です。

出会いから1ヶ月。子どもたちも教職員も、よい意味での「緊張」がほぐれ、お互いの距離感が縮まってきたようです。

校内では、朝から「おはようございます」と、「あ」いさつを交わす元気な声が響いています。また、自分自身や新しいクラスの友だちの「い」いところを見つけて、報告しに来てくれる子どもたちもいます。

私が始業式に話した「合い言葉はあ・い」を覚えていて実行してくれる子どもたちがいてうれしいです。

子どもたち一人ひとりはみんな違っています。好きなこと、得意なこと、感じ方などは、人それぞれ異なるもので、その価値に基準はありません。

異なることは「その人らしさ」であり「特徴」であり、互いに認め合い学び合うところだと考えます。

四箇北の子ども390名は、一人ひとりが特別な存在です。

67人の新しい仲間

4月11日、67名の一年生が入学しました。

最初の頃は不安もあったのか少々緊張気味でしたが、今ではどの子も元気いっぱい！小学校のなかを探検したり、教室でみんなと一緒に勉強したりと、学校生活を楽しんでいきます。

初めての給食も、当番の子どもたちが一生懸命準備をして、みんなで美味しくいただきました。

